

2024年2月14日

Jordi Sanchez-Marti 教授（スペイン、アリカンテ大学）招聘報告書

明治大学国際交流基金事業として、2023年11月23日より12月10日まで、スペイン、アリカンテ大学英語文献学部教授 Jordi Sanchez-Marti 先生を招聘し、本学での2度の講演、明治大学図書館視察、国内学会参加等をしていただいた。

第1回目の講演は11月29日（午後1時30分～3時10分）に生田キャンパス中央校舎0310教室にて「Technology and the Transmission of Texts in Medieval England」と題して行われた。学内外から40名の参加者があり、講演内容に関して活発な質疑応答があった。また講演後には教職員ホールにて Sanchez 教授を囲んで小さな懇親会が催された（8名参加）。

第2回目の講演は12月5日（午後3時20分～4時30分）に駿河台キャンパス・リバティータワー1087教室にて「English Medieval Romances in the Early Period of Print」と題して行われた。学外から10名の参加者（中世英文学が専門）があり、活発な意見の交換がなされた。

西洋初期印刷本の専門家でもある Sanchez 教授は明治大学図書館に所蔵されている貴重図書に興味を持たれ、12月5日には中央図書館にて、また12月10日には生田図書館にて1500年代から1700年代にかけてヨーロッパで印刷された刊本および数点の中世写本零葉を閲覧された。重要な資料が多数含まれているため、しっかりとしたカタログ作成が不可欠であるということであった。

学外の活動としては、12月2日から3日にかけて行われた日本中世英語英文学会にも参加され、すでに海外学会で既知の研究者との旧交も温められ、また若手研究者とも議論されている様子であった。

滞在中は宿泊先である生田ゲストハウスから生田キャンパスにあるホスト教員狩野の研究室あるいは図書館等に通われ、意見交換や資料収集を行っていた。

また、明治大学の環境を褒めていただいた。さらに国際連携および学部事務室の方々の能力が優れていることを高く評価されていた。また Sanchez 教授個人だけではなく、アリカンテ大学と本学の間で何らかの形で提携・相互交流等を積極的に進めたいとおっしゃっていた。これは今後の検討課題となろう。

以上

農学部 総合科目
専任准教授 狩野晃一